

稀府岳(702m)と天狗岩往復

実施日と天候 2019年7月14日(日) 曇り、霧

参加者 長沼(L)、小山内(SL)、相馬、酒井、笹山、太田、八重樫、渡邊、栗山

行動 8:30 登山口集合→8:40 登山開始→10:10~10:20 稀府岳頂上→11:20 天狗岩(昼飯)12:00
下山開始→13:00 稀府岳頂上→14:00 登山口

天気(不安材料)

狩場山へ一泊山行の予定が連日の雨で変更になったが、今日もはっきりしない天気。無事天狗岩まで行けるのだろうか?

登山開始、まず山頂へ

雨上がりの湿った道を転ばないように、狸の落とし物を踏まないように、気を付けて行く。急な坂を上り切り、遮るもののない稜線上の強い風と霧の中をまずは稀府岳頂上へ。次のトムラウシ山山行に備え10kg以上の荷物を背負って来たOさんSさんは、荷物のほんの少しを頂上にデポ



そして天狗岩へ

天狗岩まで30分という噂に惑わされながら、泥道を必死に登り下りして行くが、途中の何か所かの崖の下は幸い(?)霧で見えず。

やっと着いた天狗さんの鼻の下(?)は、無風で暖かい。霧が晴れた所に、伊達方面の街が見えている。食事タイムとなる。

癒し

帰り道の稀府頂上を過ぎると、街の方の霧が晴れて、家々、畑、海などが見え出す。この山に一番近いYさんの家はどこと皆は目を凝らす。

山道には、可憐なエゾカワラナデシコ(桃色)チシマフウロ(うす紫)エゾノカワラマツバ(黄色)などがなぐさめてくれ、ミヤママタタビの葉先の紅色が目には鮮やかだ。

個々いろ

- ・林道の脇に大きなブドウの木、栗の実も今年は期待できそうで、今から目を輝かせているO氏。
- ・眼鏡を笹に飛ばされてしまったけど、無事に見つけたW氏。
- ・デポしていた水を頭から豪快にかぶり、みんなを感嘆させたSさん。
- ・まだ足りないと、山道を走り下り、駆け上がってきたS氏
- ・登り甲斐があったと、はるばる苦小牧からやってきたS氏

満足度 100

みんなが満足した山行でした。

なんでか

ところで、帰りの車に乗った途端、雨が降り出した。なんて皆さん精進がよいのですね。